

令和2年度 第3回 大和市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日時 令和2年8月20日(木) 午後1時30分から午後2時30分まで
場所 大和市保健福祉センター4階 講習室I・II
出席者 委員 8名(欠席 1名)、事務局 8名 傍聴者 0名
内容

- 1 開会
- 2 内容
 - (1) 報告
 - ア 地域包括支援センター配置職員の異動状況について
 - (2) 地域ケア推進会議について
- 3 閉会

配布資料

- 資料1 令和2年度 地域包括支援センター委託状況について(報告)
資料2 大和市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業

議事の経過

- 1 開会
 - ・事務局より、大和市地域包括支援センター運営協議会規則(以下「規則」という)第6条第2項の規定に基づき、出席者が過半数に達しているため、会議成立の旨を報告
 - ・会長挨拶
 - ・会長司会により、次第に沿って進行
- 2 内容
 - (1) 報告
 - ア 地域包括支援センター配置職員の異動状況について
資料1に基づき事務局より説明

<質疑応答> なし

報告事項について、委員全員一致により了承とする
 - (2) 地域ケア推進会議について
資料2に基づき事務局より説明

<質疑応答>

委員:説明いただいた内容は、今まで大和市中で行ってきた事業をまとめ直したような印象を受けます。新規事業も取り組んでいかなければマンネリ化する可能性があると考えますが、いかがでしょうか。

事務局：大和市は平成25年度から先駆的に取り組んできました。今回、国から保健事業及び介護予防事業の一体化の施策が示されましたので、その枠組みで事業を整理したところです。ご指摘のとおり、常に事業を見直し、新たなアプローチについても考えていく必要があります。委員からのご意見を頂きながら事業の展開を検討していきたいと考えています。

委員：個別的支援（ハイリスクアプローチ）の中の口腔機能低下防止で「かみにくい」が抽出基準に挙げられていますが、それ以外に「摂食・嚥下障害」等を問う機会がありますか。「のみこみづらさ」「むせる」は高齢者の健康支援では大切なポイントであると考えています。

事務局：大和市では2年毎に「介護予防アンケート」を実施しており、平成30年度に行われたアンケートで「かむことについて」「食べることについて」の質問を設けました。また「基本チェックリスト」にも同様な項目があります。回答を見て、気になる方に対しては歯科衛生士による集団指導、個別訪問支援を行っており、必要に応じて歯科医師会と連携をしています。今後も健診以外でのアンケート実施の機会に、設問を設け、同様なアプローチを考えていきたいと思えます。

委員：個別的支援（ハイリスクアプローチ）の中の口腔機能低下防止の抽出基準にHbA1cが挙げられていますが、口腔機能とどのような関係があるのでしょうか。

事務局：重症化予防の事業としてまずは糖尿病の重症化予防から開始した経緯があります。現在は“様々なリスクを抱える対象”へと拡充し、HbA1cに抽出基準「かみにくさ」を追加し、口腔機能低下のリスクのある方への支援も行っています。

委員：75歳以上の97.9%が医療機関でなんらかの受診があるとの説明がありましたが、「なんらかの受診」とはどのような状況なのでしょうか。

事務局：KDB（国保データベース）にて抽出した、傷病や受診理由は問わず1年間に1回以上医療機関を受診した方となります。

事務局：事務局からのお願いです。配布しました「事業実施計画書」及び「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する事業の基本方針」をご覧いただき、「意見書」に意見等をご記入にうえ、返信用封筒での返信をよろしくお願いいたします。

(3) その他

- ・ 次回の地域ケア推進会議は市レベルの地域課題のうち、各地域包括支援センターで課題として取り上げられることが多い認知症、多機関・多職種連携、地域の見守りの3つの取り組みの状況についての報告と委員の皆様からのご意見を伺いたいと考えております。
- ・ 開催日時は令和2年10月15日（木）午後を予定しており、決定次第通知します。
- ・ 議事録については、議事録（案）を作成し、各委員に確認していただいた後に委員名を削除し、市のホームページに掲載します。